

4 - 2 新島・神津島の周辺の地震活動（1998 年 11 月～1999 年 4 月）

Seismic activity in Niijima and Kozushima islands and adjacent areas (November, 1998-April, 1999)

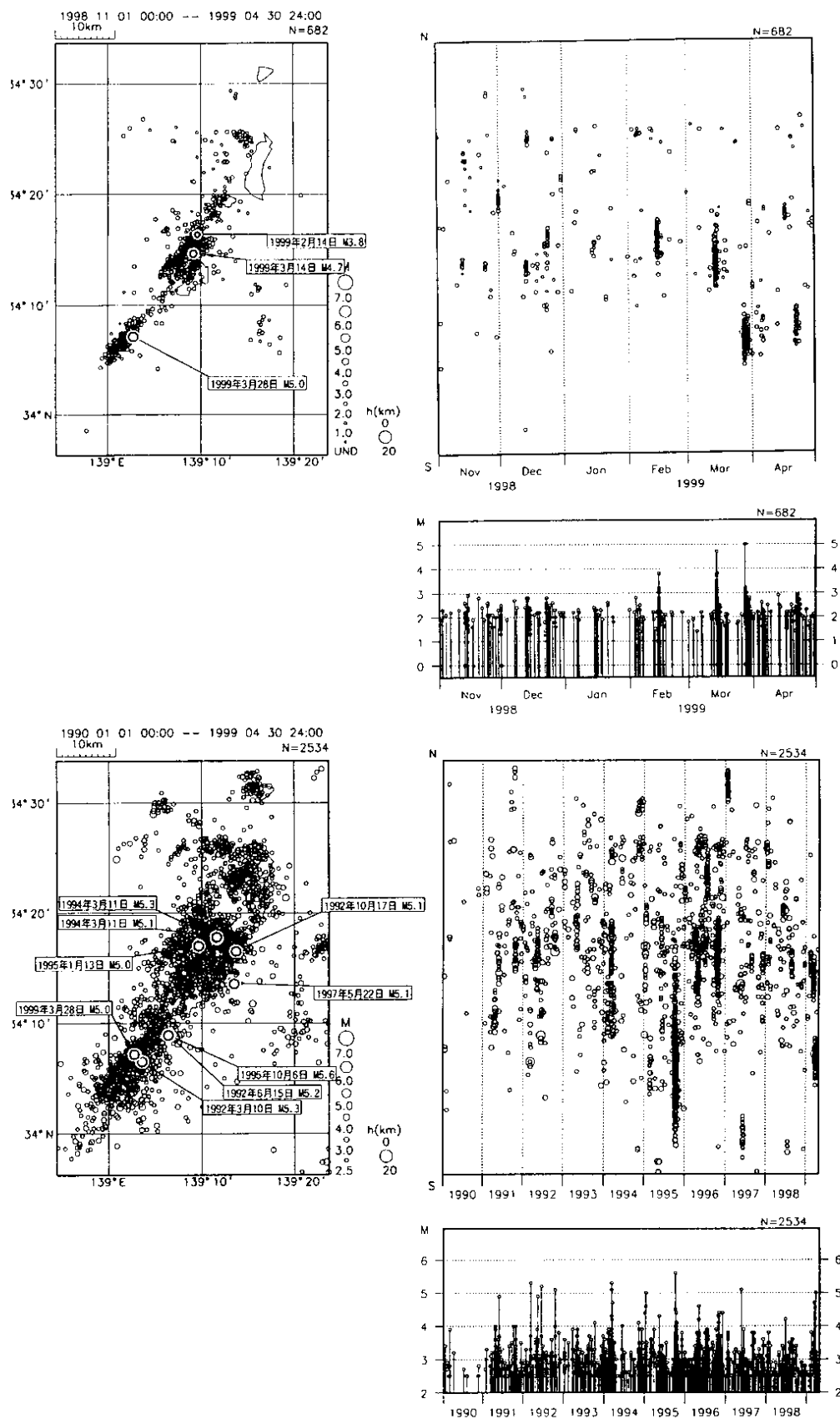
気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division

Japan Meteorological Agency

神津島の北西沿岸で 2 月 14 日に最大 M3.8 の地震を含むまとまった地震活動があった。また、活動域を含む隣接する地域で、3 月 14 日に最大 M4.7 の地震を含むまとまった地震活動があった。さらに、神津島の南西約 10km のところで、3 月 28 日に最大 M5.0 の地震を含む地震活動があった（第 1 図上）。いずれの活動も集中した活動は 1 日程度で終了している。また、これらの地震のメカニズムは、東西方向に主張力軸を持つ横ずれ型のもので、この領域ではよく見られるメカニズムである（別項「東海地域とその周辺の地震活動(1998 年 11 月～1999 年 4 月)」の発震機構解を参照）。ただし、3 月 14 日の M4.7 の地震は直前に小さな地震が発生していたため、初動によるメカニズムが決定できていない。

この新島・神津島周辺の地震活動は 1991 年あたりから活発になっているが、1997 年頃から散発的な地震活動はあるが、まとまった地震活動はやや少ない状態になっていた。この領域で M5 クラスの地震が発生したのは、1997 年 5 月 22 日 M5.1 の地震以来である。



第1図 新島・神津島周辺の地震活動図(震央分布図・時空間分布図・M-T図): 1998年11月~1999年4月(上), 1990年1月~1999年4月, M 2.5(下)

Fig.1 Quarterly earthquake epicenters and earthquakes of M4 or greater in the Kanto District and adjacent areas (May, 1998 - October, 1998).